

# 令和8年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

## 小論文

### 中等教育教員養成課程

### 中等教育プログラム 保健体育専攻

## 解答例

スポーツ（身体活動）におけるフェアプレイとは、スポーツでルールや対戦相手、審判などを尊重しながら、最後まであきらめずに自己の最善をつくして競技しようとする、正しく立派な行為のことをいう。そして、このような行為を生む公明正大な心や態度のことをフェアプレイの精神という。

スポーツは、このようなフェアプレイの精神に基づき、決められた合意のもとでおこなわれる文化である。だからこそ、薬物を利用して意図的に合意をおかし、自分だけが有利になろうとすることも許されないし、また、試合の中で意図的に反則を犯して、有利にゲームを進めることなども許されない。審判に分からなければ、怪我すれすれのプレイを相手に仕掛けてしまうといった行動もおこなうべきではなく、勝利のためには何をしても許されると考える勝利至上主義は、スポーツそのものを破壊してしまう可能性がある。何よりも、個人の倫理が重要であり、それによりスポーツをフェアにおこなっていく活動ができると考える。

私は、バレーボールを専門としており、幼少時より練習と試合を行ってきた。この競技ではないが世界が注目しているオリンピックという舞台で事件があった。その不正が記憶に残っている。2012年のロンドン大会である。この大会において、バドミントン女子ダブルス1次リーグで、無気力なプレイをした中国、韓国、インドネシアの4組8選手に対し、世界バドミントン連盟が、最終的に全員を失格にするという決定を下した。決勝トーナメントで有利な相手と対戦するために、わざとネットにかけるなどして無気力試合を実行し続け、リーグ最終戦で意図的に負けようとしたためである。

その時の行き過ぎた勝利への強い執着が、逆に、選手たちにとって、このような最も望まない事態を招く結果になった。だからこそ、フェアプレイの意識を持ち続けスポーツをおこなうことが、これからの自分の競技生活においても重要であると考えます。

（ 800 文字）